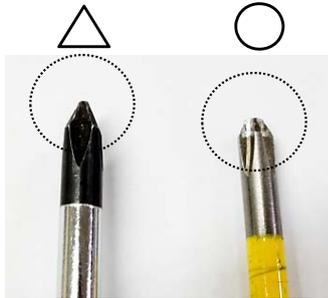


GT-RollerFlexファーストモデル用 「Flex2化オプションユニット」取り付け手順書

製品を安全にご使用して頂く為に、この手順書を良くお読みになってから取付け作業にお掛かり下さい

■使用する工具

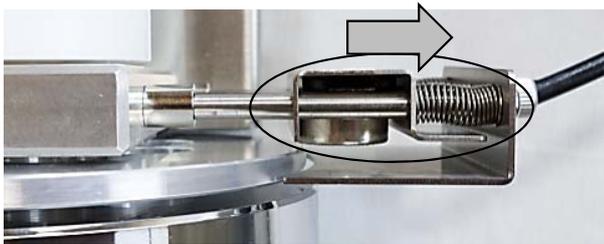
- ・6角レンチ(5mm)
- ・#2+(プラス)ドライバー



プラスドライバーは先端が尖っていないものをお勧めします。
サイズが合っていないドライバーを使用すると、ネジをなめてしまい、交換が出来ない可能性があります。

■手順1

- ・リモートレバーを操作し、マグネットの位置を一番奥側にして下さい。



■手順2

- ・負荷ユニットを取り外します。



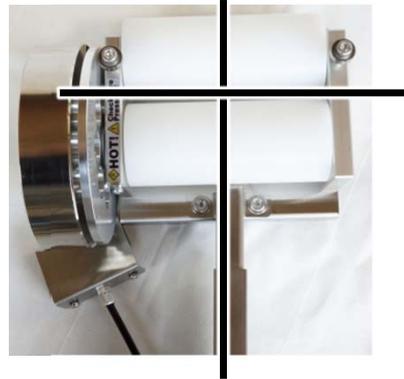
マグネットユニットを固定しているプラスネジは非常に固く締まっています。
ネジをなめない様に十分に注意して作業を進めてください。



取り外したマグネットユニットには、**強力な磁石**を使用しています。
金属の工具などを吸着して破損や怪我の可能性があります。
また、時計、クレジットカードなどが磁気により使用不可になる恐れがあります。
十分に注意してください。

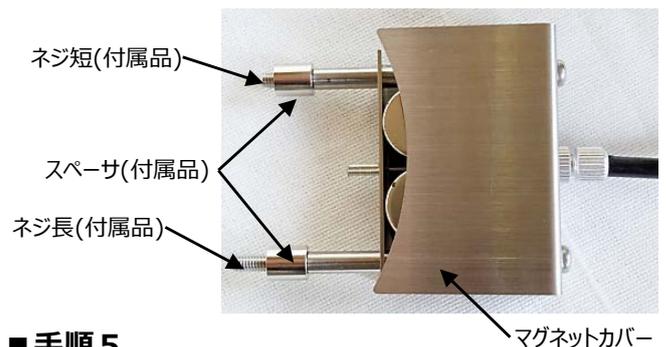
■手順3

- ・Flex2負荷ユニットを取り付けます。
フレーム中心に対して垂直に取り付けます



■手順4

- ・マグネットユニットの組立て
ネジとスペーサを図の様に付属の物と交換します。



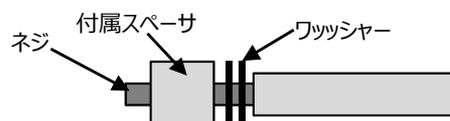
■手順5

- ・マグネットユニットの取り付け
フライホイールとマグネットユニットが平行になるように取り付けます。
ネジは緩まないように強く締めます。



■注意■

マグネットユニット取り付け後、マグネットカバーとアルミの円盤が接触する場合があります。
この場合、付属のワッシャーをネジ2本に入れてください。



以上で交換作業は終了です。
次に、調整作業を行います。
→裏面へ

ホイールベースの調整

後輪中心と2本のローラーの間中心を合わせます。

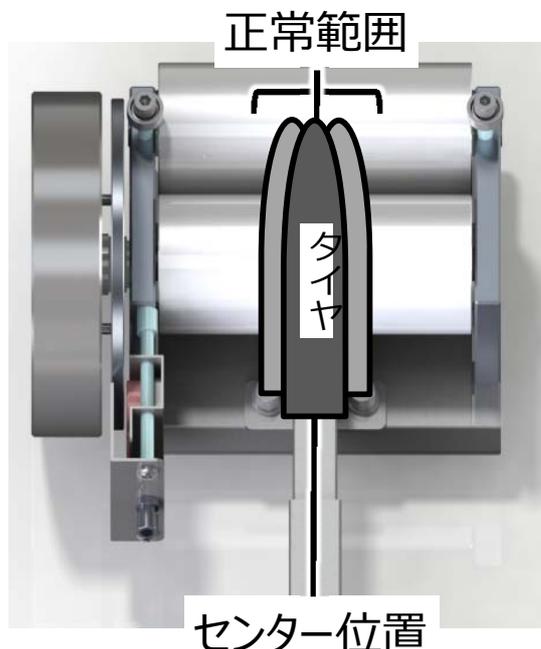
- ① ホイールベース調整ネジ(4本) を緩めます。
- ② 後輪中心から錘を付けた糸を下し、調整します。
又は、ご使用の自転車のカタログ等に記載があるホイールベースと、MC調整ボルト⇔ローラー間中心の距離をメジャーで測り、調整します。
- ③ ホイールベース調整ネジ(4本) を締めます。
- ④ ホイール回し、2本のローラーも同時に回転することを確認します。

ホイールベース調整ネジ



後輪位置について

- GT-Roller Flex2の後輪走行位置は理想的には、センター位置ですが、設置場所、自転車の精度等で左右にずれて走行することがあります。
- 左右にタイヤ0.5本分のズレは問題ありません。
センター位置にタイヤがある方が、見た目にも気持ちが良いですが、正常範囲であれば、問題ありません。



大きく後輪位置がズれる場合について

ほとんどの場合、後輪位置は“正常範囲”に入りますが、万一、正常範囲より大きく後輪位置がズれる場合、原因は主には

- ・地面が傾いている
- ・自転車の精度の問題（後輪のセンタがズれている、フレームセンタに対して、後輪が斜めに装着されている。等が考えられます。

対処方法

①～③の順序で確認を行ってください。（極力①、②で対処した方が良いでしょう）

①設置場所を見直す。

左右方向に設置場所が傾いていないか？確認し、傾いていない場所に設置する。

②自転車の取り付け状態と精度を確認する

- ・フロントフォークとMCの取り付け状態を確認する
- ・シートステーとホイールの隙間が左右同じか？
- ・後ろから見て、シートチューブとホイールは平行になっているか？

③Flex2負荷ユニットを調整する

- ・取り付けネジを緩めます
- ・負荷ユニットに少量のガタが出来ますので、図を参考に負荷ユニットを回転させます
A方向に回転させると、タイヤの走行位置はA'方向に移動します
- ・しっかりと取り付けネジを締めてください

